



呼吸器外科通信

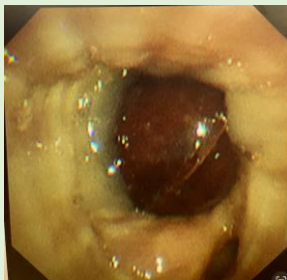
北九州総合病院は、「安全かつ適切な医療」「患者本位の医療」を実践し、健全なる地域社会の実現に貢献します。

北九州総合病院 呼吸器外科では、2024年4月より、芦刈周平先生、荒木真一先生が赴任し、昨年より1名増員となりましたので、一層充実した医療が提供できると思います。これまで通り、呼吸器疾患の救急医療を始めとして肺がん治療などにおいて、患者さんや家族のご希望やニーズに寄り添った医療を実践する所存です。呼吸器外科通信では、当科の学会活動や肺がん診療のトピックスを発信していきたいと思っています。

□ 第47回日本呼吸器内視鏡学会学術総会について

2024年6月「気管支異物(食物による)の2症例」と題して、岩浪孝嗣先生が大阪国際会議場で発表しました。いずれも豆類などの食物の誤嚥であり、気管支ファイバースコープにより摘出を行いました。また近年、高齢者における歯科治療後の歯冠の誤嚥例も増加しております。最近では、ラリンジアルマスクで気道を確保した全身麻酔において、患者さんにとって苦痛の少ない安全な方法で内視鏡的異物除去を行なっています。

▼豆類と思われる気管支異物の2症例



□ 第5回デジタル内視鏡下手術研究会について

2024年7月「センハンスを用いた肺癌手術」と題して、肺癌手術におけるセンハンスを用いたロボット支援手術の経験について報告しました。ロボット支援手術(センハンス)を行うことにより、手振れを防止し、また3D画像を用いてより安全で精緻な操作を実現することが可能となりました。また手元の操作ハンドルに触覚が得られるため、肺組織の把持も愛護的に行えることが特徴となっています。

▼デジタル内視鏡研究会の風景



文責 花桐 武志

略歴

1987年産業医科大学医学部卒業
1996年北九州市立医療センター 呼吸器外科部長
2000年ベルギーLudwig癌研究所 留学
2003年 産業医科大学病院第二外科学 講師
2009年産業医科大学医学部第二外科学 准教授
2013年飯塚病院 呼吸器腫瘍外科部長
2015年 新小倉病院 呼吸器センター長
2020年 北九州総合病院 呼吸器外科部長
2022年 北九州総合病院 外科主任部長(呼吸器外科)